



編集 大井 利夫
発行人 大井 利夫
〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育部
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.hospital.or.jp>
受付時間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発行日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

「100K キャンペーン」

武田 隆久

武田病院グループ 理事長
社団法人日本病院会 常任理事
大阪会場 専門課程(医療管理総論) 講師

診療情報管理士認定試験が平成19年度から年1回となって第1回目の認定試験が2月17日に行われ、その結果が4月1日に発表されました。結果は日本病院会のホームページでも確認できますが、受験者数3,108名中合格者数1,655名、合格率53.2%という結果です。以前の合格率はもう少し高かったかと思いますが、今回のこの数字が高いのか低いのかは、今後もう少し経過を見ていかないと分からないのですが・・・。かくいう私自身も、今回第69期生として、この認定試験を受験した身としては、年1回試験のプレッシャーや、試験における時間配分など色々と改善していく課題があるように感じました。これからは診療情報管理士教育委員会の立場だけでなく、診療情報管理士としての立場でも教育に携わっていかねばと思っています。

いずれにしても、多くの診療情報管理士の皆さんが資格を取得されており、今後ますます増加していくことは明白です。コーディングの直接業務に携わっている方は全体から見るとそんなに多くはないと思われませんが、昨今の医療における情報化の発展を考えると診療情報管理士の業務拡大は明白であることは皆さん周知の事実です。

最近、「医療安全共同行動」という活動がスタートしました。医療における有害事象(医療行為に伴う何らかの傷害)による死亡例の半数強が回避可能であるという報告を受けて、米国では多くの病院や医療関係団体が参加して“10万人(=100K)の命を救えキャンペーン”を展開し、入院中の死亡数を大幅に減らしました。これを日本でも展開していこうという活動で、日本版100Kキャンペーンとも言われています。詳しい内容はホームページ(<http://kyodokodo.jp>)で確認してもらえば良いのですが、共同行動の8つの行動目標の中に、「事例要因分析から改善へ」「患者・市民の医療参加」といった項目があります。詳細内容は、今後順次示されていくと思いますが、このキャンペーンにも診療情報管理士のかかわる部分は大きいと思われしますので、是非チェックしていただいて皆さんりの関わり方について一度考えてみてください。